





Web Caster 600MS
Universal Plug & Play (UPnP)
使用説明書

はじめに

本説明書は、Web Caster 600MSにおいて、Universal Plug&Play (UPnP) を利用するための設定方法について説明したものです。Web Caster 600MS本体に添付されている取扱説明書とあわせてお読みください。

本文表示と図記号の意味は次のようになっています。

本書中のマーク説明

	お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
	お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

Microsoft Windows Me/XP、Windows Messenger、MSN Messengerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

本書に記載されている会社名・商品名は各社の商標または登録商標です。

®マークおよび™表記については本文中に明記しません。

This product includes software developed by the Apache Group for use in the Apache HTTP server project (<http://www.apache.org/>) .

目次

はじめに	i
目次	ii

1 お使いになる前に..... 1

UPnP 機能を利用できる OS	1
UPnP 機能を使用することができるアプリケーション	1
利用できる Windows Messenger/MSN Messenger の機能	1
UPnP 機能をも機器で使用する際の注意事項	3

2 UPnP 機能の使用方法..... 4

2-1 Windows XP の設定	4
2-1-1 Windows Messenger のバージョンの確認	4
2-1-2 Windows Messenger のオーディオに関するアップデート	4
2-1-3 UPnP サポートのインストール	5
2-2 Windows Me の設定	7
2-2-1 MSN Messenger のバージョンの確認	7
2-2-2 DirectX のバージョンの確認	8
2-2-3 UPnP サポートのインストール	9
2-3 UPnP 機能の設定	11
2-3-1 Web Caster 600MS の起動	11
2-3-2 UPnP 設定	12
2-4 動作確認	14
2-4-1 Windows XP による UPnP 機能の動作確認	14
2-4-2 Windows Me による UPnP 機能の動作確認	17
2-5 UPnP 機能の保守	19
2-5-1 UPnP ログ	19
2-5-2 UPnP コントロールポイント (CP) テーブル	21
2-5-3 UPnP NAT 設定情報	22
2-5-4 UPnP NAT 情報消去	24

3 トラブルシューティング..... 25

1 お使いになる前に

UPnP機能を利用できるOS

本機器のUPnP機能を使用する場合、パソコンのOSをUPnP対応にする必要があります。平成14年8月現在、標準でUPnPに対応しているOSは以下のとおりです。

- Windows XP
- Windows Me

UPnP機能を使用することができるアプリケーション

本機器のUPnP機能を使用する場合、OSだけでなくアプリケーション側もUPnPに対応する必要があります。平成14年8月現在、UPnPに対応したアプリケーションは以下のとおりです。

- Windows Messenger version4.6以上
Windows XPに標準搭載されているインスタントメッセージングソフト (IM) です。インターネットを使ったテレビ話 (ビデオチャット) などが可能です。
- MSN Messenger version4.6以上
Windows Meで使用することができるインスタントメッセージングソフト (IM) です。インターネット電話 (音声チャット) などが可能です。

利用できるWindows Messenger/MSN Messengerの機能

本機器のUPnP機能により利用可能になるWindows MessengerおよびMSN Messengerの機能は以下の通りです。

	Windows Messenger	MSN Messenger
インスタントメッセージ	○	○
音声チャット	○	○
ビデオチャット	○	機能なし
電話をかける (.NET Voice Services)	○	○
ファイルの送受信	○	○
アプリケーション共有	○	機能なし
ホワイトボード	○	機能なし
リモートアシスタンス	○	機能なし
複数のMessenger端末利用	○	○

お願い

本機器で「UPnP 機能を使用する」と設定すれば、上記の機能をすべて使用することができます。ただし、「IP フィルタ設定」のワンタッチ設定において、「外部装置から開始される TCP セッションを遮断」のチェックボックスをはずす必要があります。

STOP お願い

Windows/MSN Messenger にサインインしても相手側にオンライン状態が認識されない場合や、音声チャット・ビデオチャットにおいて招待が通知されない、承諾しても音声・ビデオチャットが開始できない場合は、一旦サインアウトしてから、再度サインインしてください。状態が変わらないときは、一旦 Windows/MSN Messenger を終了して、再度実行してください。それでも状態が変わらないときは、パソコンを再起動してください。

STOP お願い

音声チャットを行うためには、音声入力のためにマイク、音声出力のためにスピーカが必要です。ヘッドセットを使用することもできます。詳しくは、ご使用のパソコンやパソコンに接続した機器の取扱説明書をご確認ください。

STOP お願い

ビデオチャットには、マイク/スピーカまたはヘッドセットと、映像入力を行うためのカメラ（USB 接続カメラなど）が必要です。詳しくは、ご使用のパソコンやパソコンに接続した機器の取扱説明書をご確認ください。

STOP お願い

音声チャットやビデオチャットは、パソコン同士でしか使用できません。

STOP お願い

「電話をかける」（.NET Voice Services）機能を使用した場合は、一般電話網を使用して電話をかけることができます。ただしこの機能を利用するためには、.NET Voice Services プロバイダとの契約が必要です。

STOP お願い

Web Caster 600MS では、UPnP 機能を使用したパソコンを同時に 10 台まで使用することができますが、Windows/MSN Messenger のアプリケーションを有効に使用するには、4 台以下でのご使用を推奨します。

UPnP機能を本機器で使用する際の注意事項

本機器のUPnP機能を使用して、Windows/MSN MessengerなどのUPnP対応のアプリケーションをご使用される場合は、以下の項目にご注意ください。

(1) アクセス制限設定

アクセス制限設定はUPnP設定よりも常に優先的に扱われます。アクセス制限設定を行っている場合は、本機器に対するアクセス許可をされていない端末でUPnP機能を使用することはできません。

(2) NATアドレス変換設定/NATアドレス・ポート変換設定

UPnPのNAT設定情報は、NATアドレス変換設定やNATアドレス・ポート変換設定よりも常に優先的に扱われます。そのため、NATアドレス変換やNATアドレス・ポート変換で行った設定どおりに動作しない場合があります。


(3) NATアドレス変換設定の「Windows Messenger を使用する」チェックボックス

本機器のUPnP機能を使用した場合は、NATアドレス変換設定で「Windows Messenger を使用する」の設定を行わなくても、Windows/MSN Messenger機能を使用することができます。そのため、NATアドレス変換設定の「Windows Messenger を使用する」を設定したあとでUPnP設定で「使用する」を選択した場合は、NATアドレス変換設定の「Windows Messenger を使用する」のチェックが自動的にはずれます。

(4) IPフィルタ設定

IPフィルタ設定は、UPnPのNAT設定情報よりも常に優先的に扱われます。そのため、UPnPを使用したアプリケーションが使用できない場合があります。特に、Windows/MSN MessengerなどのUPnP対応のアプリケーションを使用する場合は、「外部装置から開始されるTCPセッションを遮断」のチェックボックスのチェックをはずしてください。

(5) NATテーブル消去

NATテーブルの消去を行ってもUPnPのNAT設定情報は消去されません。UPnPのNAT設定情報を消去する場合は、「2-5-4 UPnP NAT情報消去」( p.24)の機能をご使用ください。

(6) 構成定義のバックアップ・リストア

- ・構成定義のバックアップを行った場合
UPnPによる静的NAT設定情報はコメント情報として“#”が先頭についた状態で表示されます。
- ・構成定義のリストアを行う場合
UPnPによる静的NAT設定情報はリストアされません。“#”を取り外してリストアを行うとエラーになりますので、構成定義のリストアは、“#”の行を変更せずに行ってください。

(7) 設定の初期化

設定の初期化を実行した場合、UPnPによる静的NAT設定情報はすべて消去されます。

2 UPnP機能の使用手法

2-1 Windows XPの設定

Windows XPでWindows Messengerを使用するために必要なファイルのダウンロード、インストールや、設定の確認を行います。

2-1-1 Windows Messengerのバージョンの確認

Windows Messenger version4.6以降のバージョンであるかどうかを確認してください。

- 1 Windows Messenger のメニューバーから、[ヘルプ] → [Windows Messenger のバージョン情報] を選択してください。
- 2 Window Messenger のバージョンを確認してください。



STOP お願い

Window Messengerのバージョンが4.6より古い場合は、Windows Messengerのアップデートを行ってください。

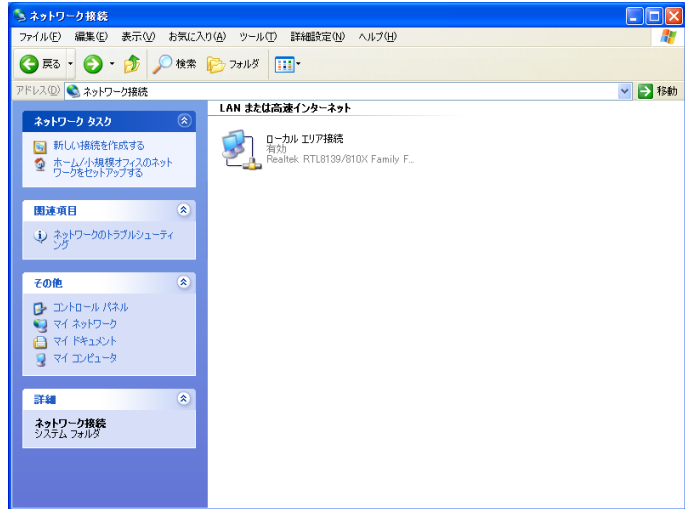
2-1-2 Windows Messengerのオーディオに関するアップデート

Windows Messengerのオーディオに関するアップデートが適用されているかどうか確認してください。適用されていない場合は、オーディオに関するアップデートを行ってください。

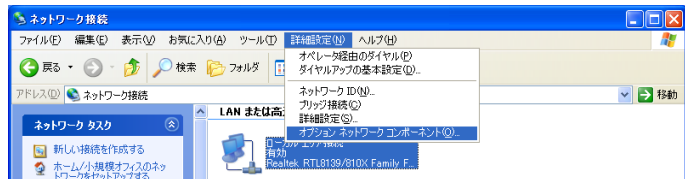
2-1-3 UPnPサポートのインストール

パソコンでUPnP機能を使用するために、次の手順にしたがって設定を行ってください。

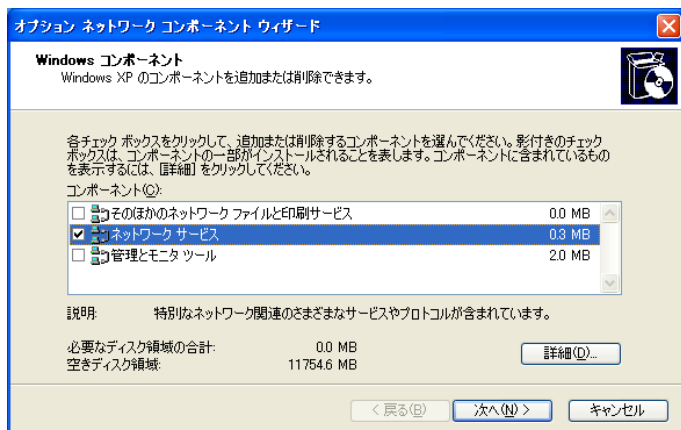
- 1 デスクトップの [スタート] ボタンから [コントロールパネル] → [ネットワークとインターネット接続] → [ネットワーク接続] を開いてください。



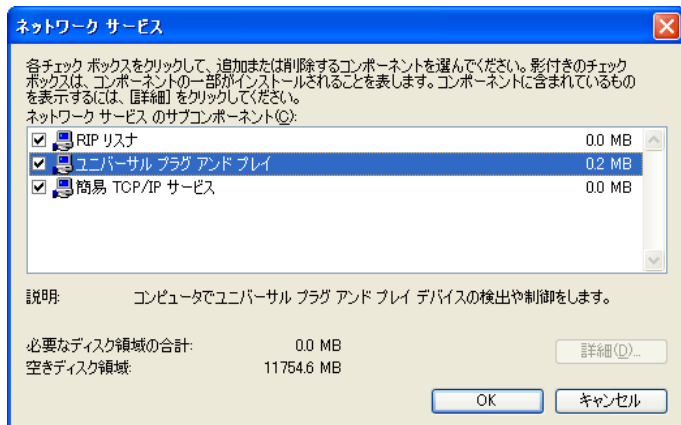
- 2 メニューバーから [詳細設定] → [オプションネットワークコンポーネント] を選択してください。



- 3 [ネットワークサービス] にチェックを入れ、**詳細 (D) ...** ボタンをクリックしてください。



- 4 [ユニバーサルプラグアンドブレイ] にチェックを入れ、**OK** ボタンをクリックして 3 の画面に戻り、続いて **次へ** ボタンをクリックしてください。



2-2 Windows Meの設定

Windows MeでMSN Messengerを使用するために必要なファイルのダウンロード、インストールや、設定の確認を行います。

2-2-1 MSN Messengerのバージョンの確認

MSN Messenger version4.6以降のバージョンであるかどうかを確認してください。

- 1 MSN Messenger のメニューバーから、[ヘルプ] → [MSN Messenger のバージョン情報] を選択してください。
- 2 MSN Messenger のバージョンを確認してください。



お願い

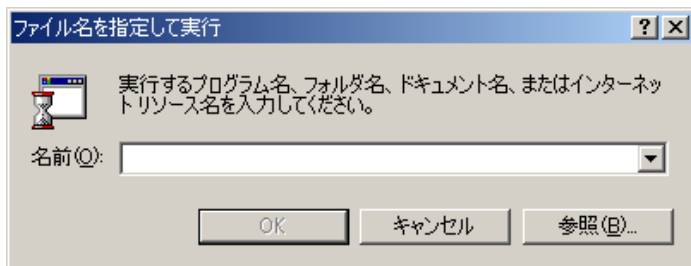
MSN Messengerのバージョンが4.6より古い場合は、MSN Messengerのアップデートを行ってください。

2-2-2 DirectXのバージョンの確認

DirectX 8.1以降のバージョンであるかどうかを確認してください。

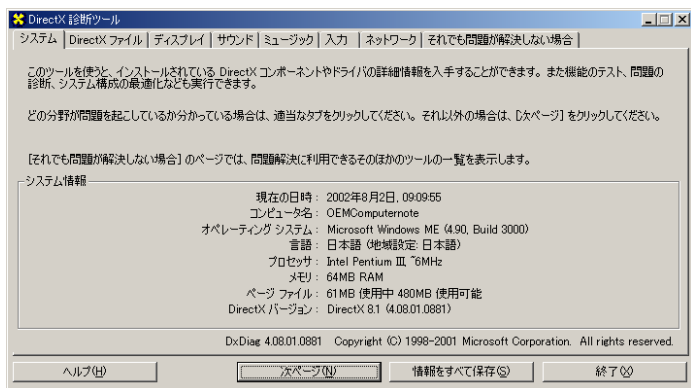
- 1 デスクトップの [スタート] ボタンから [ファイル名を指定して実行 (R) ...] を選択してください。

[ファイル名を指定して実行] ダイアログが開きます。



- 2 「dxdiag」と入力し、OK ボタンをクリックしてください。

- 3 DirectX のバージョンを確認してください。



お願い

DirectXのバージョンが8.1より古い場合は、DirectXのアップデートを行ってください。

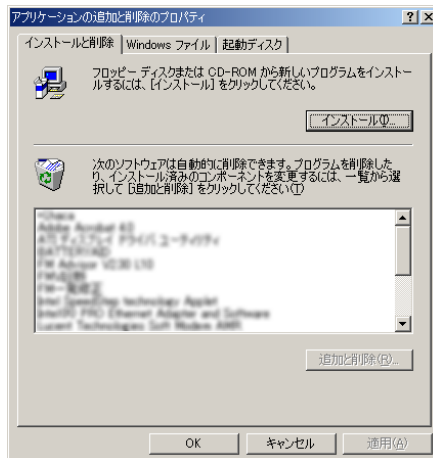
2-2-3 UPnPサポートのインストール

パソコンでUPnP機能を使用するために、次の手順にしたがって設定を行ってください。

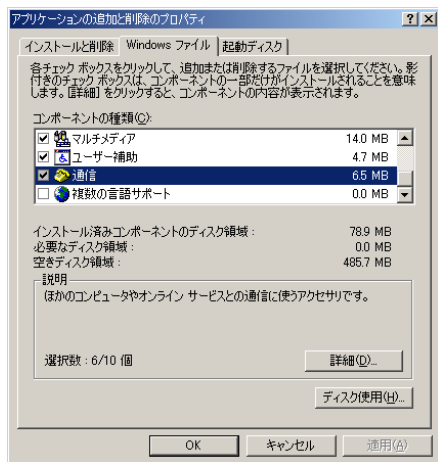
- 1 デスクトップの [スタート] ボタンから [設定] → [コントロールパネル] をクリックしてください。



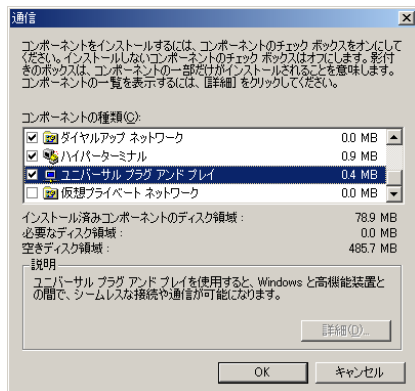
- 2 [アプリケーションの追加と削除] をダブルクリックしてください。



- 3 [Windows ファイル] タブをクリックしてください。
- 4 [コンポーネントの種類] の「通信」を選択し、**詳細 (D) ...** ボタンをクリックしてください。



- 5 [コンポーネントの種類] の「ユニバーサル プラグ アンド プレイ」にチェックが入っているか確認してください。入っていない場合はチェックボックスにチェックを入れ、**OK** ボタンをクリックし、画面の指示に従ってください。



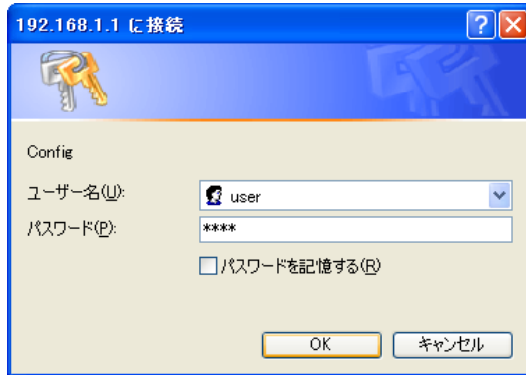
2-3 UPnP機能の設定

本機器でUPnP機能を使用するための設定を行います。

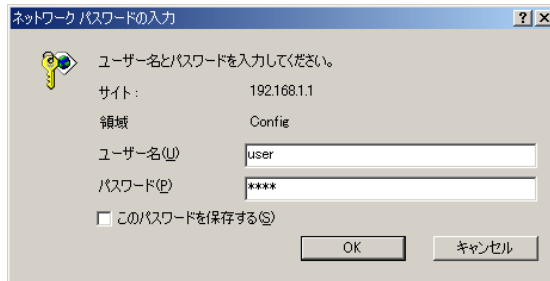
2-3-1 Web Caster 600MSの起動

WWWブラウザでWeb Caster 600MSに接続することにより、管理メニューが表示されます。取扱説明書「3-3 管理メニューを表示する」に従い管理メニューを表示させてください。

ユーザー名、パスワード入力画面はそれぞれ次のように表示されます。



※この画面はWindows XP のものです。



※この画面はWindows Me のものです。

2-3-2 UPnP設定

UPnPの設定を行います。特定のIPアドレスを持ったパソコンだけにUPnP機能の使用を制限することもできます。

お願い

アクセス制限の設定により、本機器へのアクセスが許可されていないIPアドレスからは、UPnP機能を使用することができません。取扱説明書の「6-3 アクセス制限設定」をご参照の上、設定をご確認ください。

1 画面左側のメニューフレームから UPnP 設定 をクリックしてください。

2 画面右側の操作フレームに表示されたUPnP設定画面の [UPnP を] に「使用する」を設定してください。

操作フレームに「UPnPの使用を許可するIPアドレス」のメニューが表示されます。



お知らせ

設定 をクリックするまでは、「UPnPアクセスを許可するIPアドレス一覧」を操作することはできません。

- 3 **設定** をクリックしてください。UPnP 機能が有効になり、IP アドレスの登録が可能となります。



お知らせ

UPnP を [使用する] / [使用しない] の設定を変更した場合、一時的にインターネットに対するすべての通信ができなくなります。

- 4 設定を行う **数字** をクリックしてください。

UPnP 設定画面が表示されます。

No.	IPアドレス
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

IP アドレス欄に、UPnP アクセスを許可する IP アドレスを設定してください。

- 5 **設定** をクリックしてください。

設定内容が保存されます。



お願い

本装置へのアクセスを許可していない IP アドレスを設定しても、UPnP 機能を使用することはできません。取扱説明書の「6-3 アクセス制限設定」をご参照の上、設定をご確認ください。

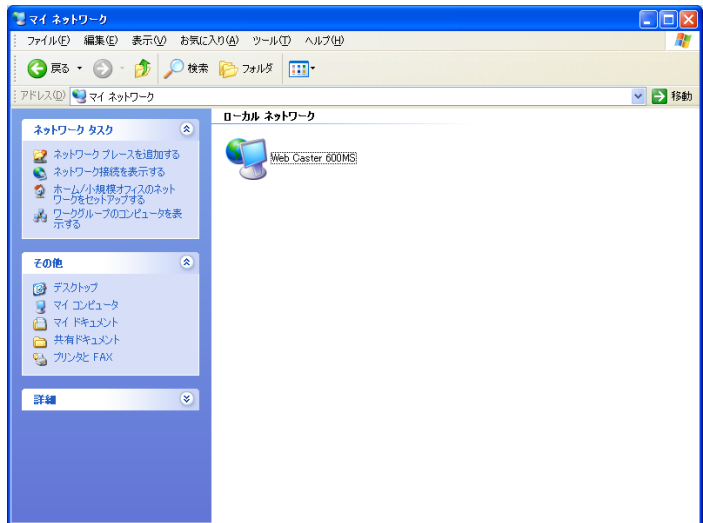
2-4 動作確認

2-4-1 Windows XPによるUPnP機能の動作確認

Web Caster 600MSのUPnP機能が正常に動作すると、画面にアイコンが表示されます。

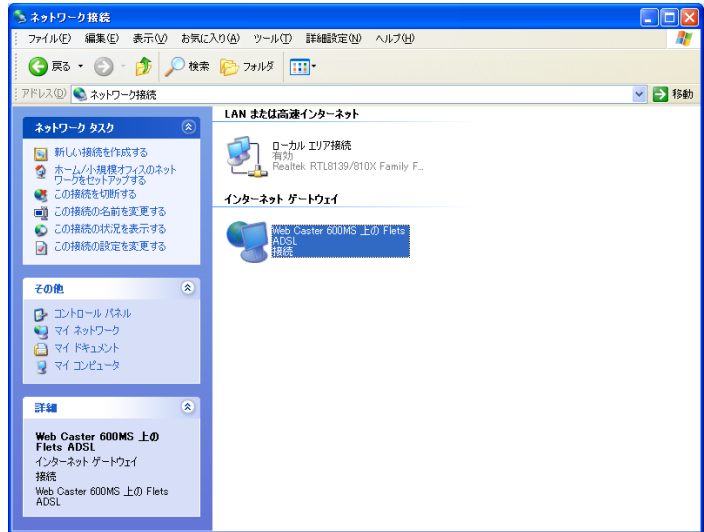
- 1 デスクトップの [スタート] ボタンから [コントロールパネル] → [ネットワークとインターネット接続] を開き、関連項目から [マイネットワーク] を開いてください。

[マイネットワーク] 画面に「Web Caster 600MS」アイコンが表示されます。「Web Caster 600MS」アイコンをダブルクリックすると、WWW ブラウザの設定画面が表示され、設定を行うことができます。

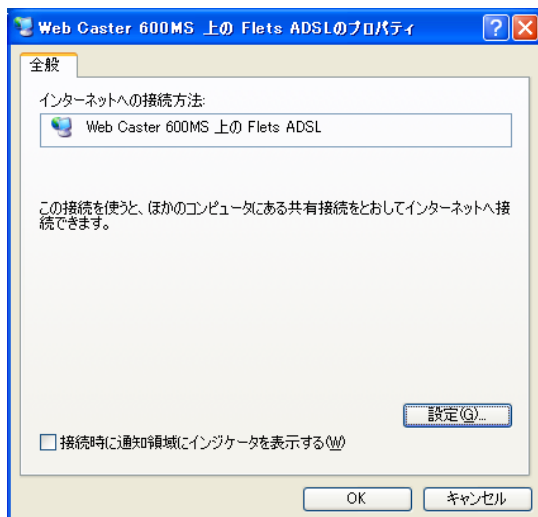


- 2 デスクトップの [スタート] ボタンから [コントロールパネル] → [ネットワークとインターネット接続] → [ネットワーク接続] を開いてください。

[ネットワーク接続] 画面に「インターネット ゲートウェイ」アイコンが表示されます。表示された「インターネット ゲートウェイ」アイコンを右クリックして [接続] または [切断] を選択すると、WAN 側への接続/切断ができます。



- 3 「インターネット ゲートウェイ」アイコンを右クリックして [プロパティ] を選択すると、その接続のプロパティが表示されます。



- 4 「インターネット ゲートウェイ」アイコンを右クリックして [状態] を選択するか、ダブルクリックすると、WAN 側の接続状態を確認することができます。

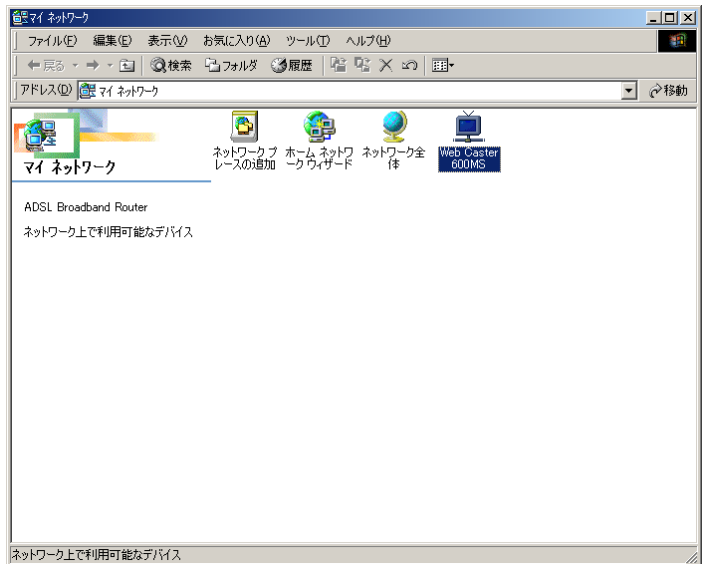


2-4-2 Windows MeによるUPnP機能の動作確認

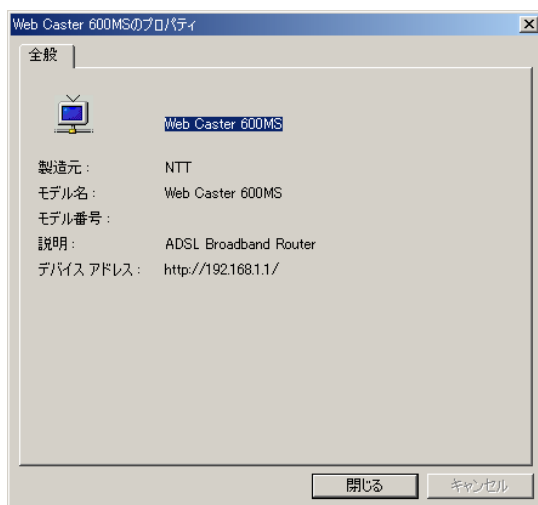
Web Caster 600MSのUPnP機能が正常に動作すると、画面にアイコンが表示されます。

1 デスクトップの [マイネットワーク] を開いてください。

[マイネットワーク] 画面に「Web Caster 600MS」アイコンが表示されます。「Web Caster 600MS」アイコンを右クリックして [プロパティ] をクリックすると、本機器のプロパティが表示されます。「Web Caster 600MS」アイコンをダブルクリックすると、WWW ブラウザの設定画面が表示され、設定を行うことができます。



- 2 「Web Caster 600MS」アイコンを右クリックして [プロパティ] をクリックすると、本機器のプロパティが表示されます。



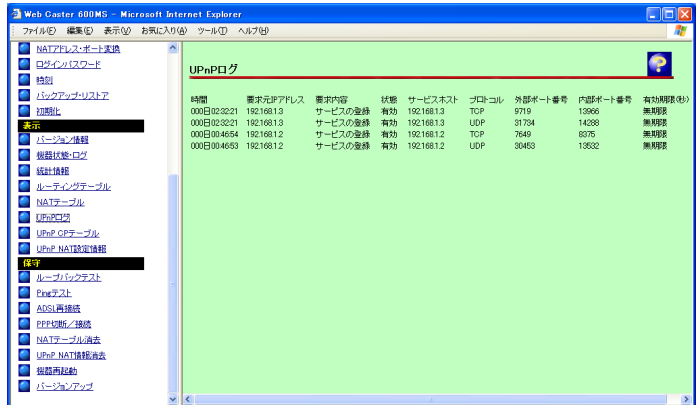
2-5 UPnP機能の保守

2-5-1 UPnPログ

ログ内容によりUPnPの状態の変化を知ることができます。

1 画面左側のメニューフレームから UPnP ログ をクリックしてください。

画面右側の操作フレームにUPnP ログ画面が表示されます



お知らせ

最大100件までのログが表示されます。

100件を超えると、古いものから順に削除されます。

ログは以下の情報が参照できます。

- 時間
リクエストを Web Caster 600MS が受け取った時間が表示されます。ログは絶対時間で表示されますが、プロバイダによっては絶対時刻ではなく、機器起動時点を 0 時とする相対時刻で表示される場合もあります。
- 要求 IP アドレス
リクエストを送信した IP アドレスが表示されます。

- 要求内容
 - リクエストの内容が表示されます。
 - UPnP 用の静的 NAT 設定情報が操作された場合
 - サービスの登録：UPnP 用の静的 NAT 設定情報が新規登録された
 - サービスの削除：UPnP 用の静的 NAT 設定情報が削除された
 - サービスの更新：UPnP 用の静的 NAT 設定情報が更新された
 - サービスの全削除：UPnP 用の静的 NAT 設定情報が WWW から全削除された
 - 登録不可：UPnP 用の静的 NAT 設定情報が最大件数（80 件）を超えた
 - PPP 接続・切断要求があった場合
 - PPP 接続要求：PPP の接続要求があった
 - PPP 切断要求：PPP の切断要求があった
- 状態
 - 登録された UPnP 用の静的 NAT 設定情報の状態が表示されます。
 - 有効：登録された UPnP 用の静的 NAT 設定情報は使用されている
 - 無効：登録された UPnP 用の静的 NAT 設定情報は使用されていない
- サービスホスト
 - 登録された UPnP 用の静的 NAT 設定情報の LAN 側 IP アドレスが表示されます。
- プロトコル
 - 登録された UPnP 用の静的 NAT 設定情報のプロトコルが表示されます。TCP もしくは UDP のいずれかが表示されます。
- 外部ポート番号
 - 登録された UPnP 用の静的 NAT 設定情報の ADSL 側ポート番号が表示されます。
- 内部ポート番号
 - 登録された UPnP 用の静的 NAT 設定情報の LAN 側ポート番号が表示されます。
- 有効期限
 - UPnP 用の静的 NAT 設定情報の有効期限が秒数で表示されます。
 - Windows/MSN Messenger から設定される静的 NAT 設定情報はすべて“無期限”が指定されています。



お知らせ

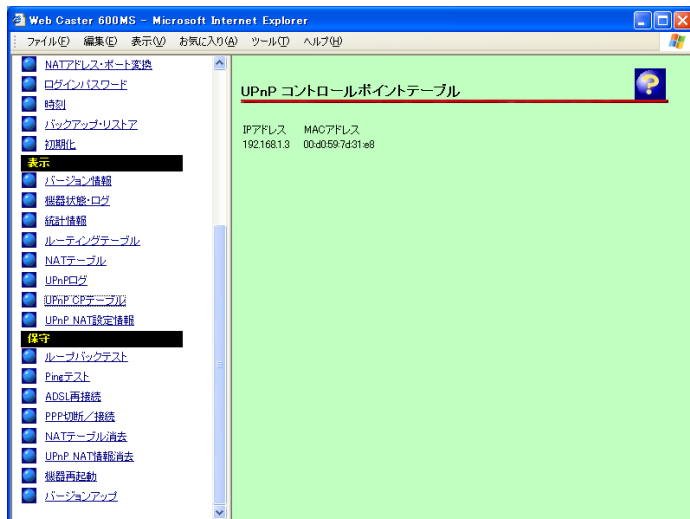
電源をoffにすると、本ログも消去されます。

2-5-2 UPnPコントロールポイント (CP) テーブル

Web Caster 600MSで認識されたUPnP対応のソフトウェアが動作しているパソコンの、IPアドレスとMACアドレスが表示されます。

1 画面左側のメニューフレームから UPnP CP テーブル をクリックしてください。

画面右側の操作フレームにUPnP コントロールポイントテーブル画面が表示されます。



お知らせ

最大10件までUPnPを使用しているコントロールポイントが表示されます。
コントロールポイントは、同時に4台以下で使用することを推奨します。



お知らせ

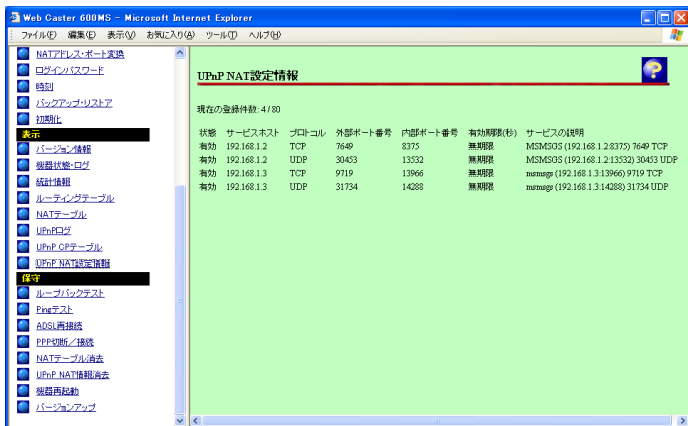
ARPの有効期限が切れた場合、MACアドレスは00:00:00:00:00:00で表示されます。

2-5-3 UPnP NAT設定情報

UPnP機能によって自動的に登録されたUPnP NAT設定の内容を参照することができます。

- 1 画面左側のメニューフレームから **UPnP NAT 設定情報** をクリックしてください。

画面右側の操作フレームにUPnP NAT 設定情報画面が表示されます。



- 現在の登録件数

現在UPnP NAT 設定に記憶されているUPnP NAT 設定エントリの件数/最大登録件数が表示されます。


UPnP NAT 設定情報表示は、以下の情報が参照できます。

- 状態
登録されたUPnP用の静的NAT設定情報の状態が表示されます。
有効: 登録されたUPnP用の静的NAT設定情報は使用されている。
無効: 登録されたUPnP用の静的NAT設定情報は使用されていない。
- サービスホスト
登録されたUPnP用の静的NAT設定情報のLAN側IPアドレスが表示されます。
- プロトコル
登録されたUPnP用の静的NAT設定情報のプロトコルが表示されます。TCPもしくはUDPのいずれかが表示されます。
- 外部ポート番号
登録されたUPnP用の静的NAT設定情報のADSL側ポート番号が表示されます。

- 内部ポート番号
登録された UPnP 用の静的 NAT 設定情報の LAN 側ポート番号が表示され
ます。
- 有効期限
UPnP 用の静的 NAT 設定情報の有効期限が秒数で表示されます。
Windows/MSN Messenger から設定される静的 NAT 設定情報はすべて “無期
限” が指定されています。
- サービスの説明
Messenger 等 UPnP 対応のソフトウェアによって設定された説明が最大 60
文字で表示されます。



お願い

電源をoffにしても、本設定情報は消去されません。本設定情報を消去する
には、「2-5-4 UPnP NAT情報消去」( p.24) の機能をご使用くださ
い。

2-5-4 UPnP NAT情報消去

UPnP機能によって自動的に設定されるNAT情報は、80件までしか登録できません。（現在のUPnP NAT情報登録件数を確認したい場合は、「2-5-3 UPnP NAT設定情報」(p.22) で確認してください。)

UPnP NAT情報を80件を超えて登録して通信することはできません。この場合は、UPnP NAT情報エントリを消去することにより、新しい通信ができるようになります。

- 1 画面左側のメニューフレームから **UPnP NAT 情報消去** をクリックします。

画面右側の操作フレームに UPnP NAT 情報消去画面が表示されます。



- 2 **消去** ボタンをクリックすると、すべての UPnP NAT 設定情報が消去されます。



お知らせ

UPnP NAT情報消去を行うと、これまでに登録されていたUPnP NAT情報エントリはすべて消去され、一時的にインターネットに対するすべての通信ができなくなります。


3 トラブルシューティング

本機器を使って、UPnP 機能を使用したアプリケーションが正しく動作しなかった場合には、次の表にしたがって対処してください。

現象：UPnP 機能でインターネットにアクセスできない

原因：UPnP NAT 設定情報に最大件数の登録がされている。

対処：UPnP NAT 設定情報を消去してください。

「2-5-4 UPnP NAT 情報消去」 ( p. 24)

原因：アクセス制限設定によってアクセスできない。

対処：アクセス制限設定を確認し、UPnP 機能を使用するパソコンが本機器にアクセス可能になるように設定してください。

取扱説明書「6-3 アクセス制限設定」

原因：IP フィルタ設定によってアクセスできない。（「外部装置から開始される TCP セッションを遮断」のチェックボックスがチェックされている。）

対処：IP フィルタ設定を確認してください。（「外部装置から開始される TCP セッションを遮断」のチェックボックスのチェックをはずす。）

取扱説明書「6-4 IP フィルタ設定」

現象：Windows/MSN Messenger が正常に動作しない

対処：一旦サインアウトし、再度サインインしてください。

対処：一旦 Windows/MSN Messenger を終了し、再度実行してください。

対処：パソコンを再起動してください。

現象：UPnP 機能の動作確認で「Web Caster 600MS」アイコンが表示されない、または

「Web Caster 600MS 上の Flets ADSL 接続」アイコンが表示されない。

原因：本機器を検出するのに時間がかかっている。

対処：パソコンを再起動してください。

原因：本機器以外に UPnP でパソコンを接続した。

対処：パソコンを再起動してください。

原因：LAN インタフェースを変更した。

対処：パソコンを再起動してください。